

# 全国道路・街路交通情勢調査（センサス）の 移行に際し注意して頂きたい内容・移行手順

## 1. 注意点

- ① 「令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査（以下、R3年度センサス）」における交通調査単位区間番号と、「平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査（以下、H27年度センサス）」における交通調査単位区間番号が異なる場合があります。また、R3年度交通調査単位区間番号とH27年度交通調査単位区間番号が重複していても、起終点が異なる場合があります。

評価結果を正しく集計するために、H27年度センサスからR3年度センサスの移行作業前に、必ず **R3年度交通調査単位区間番号とH27年度交通調査単位区間番号の確認**、及び **交通調査単位区間番号の重複有無と起終点等** について確認し、適宜R3年度交通調査単位区間番号に変更してください。

- ② R3年度センサスへの移行は、全ての評価区間を一括で更新することを推奨します。  
なお、R3年度センサスへの移行が一度には困難であり、やむを得ず移行期間が複数年にまたがる場合は、交通量調査単位区間番号が重複しないよう注意ください。

## 2. 手順

### 2-1. これまで用いていた交通調査単位区間番号の確認

環境省へ報告いただいた常時監視結果報告様式や、面的評価支援システムの登録内容を以て確認ください。

（例）常時監視結果報告様式を以て確認する場合

【交通調査単位区間番号】

常時監視結果報告様式の「センサス番号 区間番号(0列)」を確認

### 2-2. R3年度交通調査単位区間番号、起終点等の変更確認

後述の「3-1. 準備（R3年度交通調査単位区間番号、起終点等の変更確認）」に記載いたします。

### 2-3. R3 年度センサスへ移行

後述の「3-2. 面的評価支援システムでの移行操作」に記載いたします。

なお、R3 年度交通調査単位区間番号と H27 年度交通調査単位区間番号が重複している場合は、**R3 年度交通調査単位区間番号の大きな番号から更新し、必ず H27 年度交通調査単位区間番号と重複しない様にしてください。**重複している場合、評価結果が正しく集計されないことがあります。以下に重複しているケースを記載いたします。

(例) R3 年度、H27 年度交通調査単位区間番号が重複しているケース

下図は、国土交通省が公表している「令和 3 年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 集計表\_箇所別基本表」を抜粋したものです。

黄色着色しているとおり、R3 年度と H27 年度交通調査単位区間番号が重複しています。下図の場合、重複している区間番号は 10090~10150 です。

また、例えば R3 年度交通調査単位区間番号 10150 は起終点が札幌自動車道～小樽定山溪線ですが、H27 年度交通調査単位区間番号 10150 は一般国道 337 号～小樽市・札幌市手稲区境となっており、**R3 年度と H27 年度交通調査単位区間番号が重複していても違うセンサス区間となっています。**

なお交通調査単位区間番号の変更を行う際は、**必ず R3 年度交通調査単位区間番号の大きな番号から更新してください。**このケースの場合、重複の区間の中で、R3 年度交通調査単位区間番号が一番大きな番号は 10170 ですので、面的評価支援システム上で、H27 年度交通調査単位区間番号の 10150 を選択し、R3 年度交通調査単位区間番号 10170 に変更します。続いて、H27 年度交通調査単位区間番号の 10140 を R3 年度交通調査単位区間番号 10160 へ変更を行います。

令和 3 年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 集計表\_箇所別基本表 (抜粋)

令和 3 年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 集計表_箇所別基本表										国土交通省 運輸局									
交通調査単位区間番号	世代管理番号	道路種別	路線名	起点側	終点側	交通調査単位区間番号		平成27年度		令和3年度		旅行速報調査単位区間番号							
						調査年度	調査区間番号	調査年度	調査区間番号	調査年度	調査区間番号	調査年度	調査区間番号						
220	1300056860	1	0	3	5	一般国道5号	1390	10080	1390	10080	1390	10090	1390	10090					
221	1300056870	0	1	0	5	一般国道5号	1390	10070	1390	10070	1390	10070	1390	10070					
222	1300056880	0	0	3	5	一般国道5号	1390	10070	1390	10070	1390	10070	1390	10070					
223	1300056890	0	0	3	5	一般国道5号	1390	10080	1390	10080	1390	10080	1390	10080					
224	1300056900	0	0	3	5	一般国道5号	1390	10080	1390	10080	1390	10080	1390	10080					
225	1300056910	0	0	3	5	一般国道5号	1390	10080	1390	10080	1390	10080	1390	10080					
226	1300056920	0	0	3	5	一般国道5号	1390	10090	1390	10090	1390	10090	1390	10090					
227	1300056930	0	1	3	5	一般国道5号	1390	10080	1390	10080	1390	10080	1390	10080					
228	1300056940	0	2	3	5	一般国道5号	1390	10090	1390	10090	1390	10090	1390	10090					
229	1300056950	0	1	3	5	一般国道5号	1390	10090	1390	10090	1390	10090	1390	10090					
230	1300056960	0	1	3	5	一般国道5号	1390	10090	1390	10090	1390	10090	1390	10090					
231	1300056970	0	0	8	5	一般国道5号	1390	10100	1390	10100	1390	10100	1390	10100					
232	1300056980	1	0	8	5	一般国道5号	1390	10110	1390	10110	1390	10110	1390	10110					
233	1300056990	0	1	8	5	一般国道5号	1390	10110	1390	10110	1390	10110	1390	10110					
234	1300056990	0	2	3	5	一般国道5号	1390	10110	1390	10110	1390	10110	1390	10110					
235	1300056990	0	1	3	5	一般国道5号	1390	10120	1390	10120	1390	10120	1390	10120					
236	1300056990	0	0	3	5	一般国道5号	1390	10130	1390	10130	1390	10130	1390	10130					
237	1300056990	0	1	3	5	一般国道5号	1390	10130	1390	10130	1390	10130	1390	10130					
238	1300056990	0	0	3	5	一般国道5号	1390	10140	1390	10140	1390	10140	1390	10140					
239	1300056990	0	0	8	5	一般国道5号	1390	10150	1390	10150	1390	10150	1390	10150					
240	1300056990	0	0	8	5	一般国道5号	1390	10160	1390	10160	1390	10160	1390	10160					
241	1300056990	0	0	8	5	一般国道5号	1390	10170	1390	10170	1390	10170	1390	10170					
242	1300056990	0	0	3	5	一般国道5号	1390	10180	1390	10180	1390	10180	1390	10180					
243	1300056990	0	0	3	5	一般国道5号	1390	10190	1390	10190	1390	10190	1390	10190					
244	1300056990	0	0	2	5	一般国道5号	1390	10200	1390	10200	1390	10200	1390	10200					
245	1300056990	0	0	3	5	一般国道5号	1390	10210	1390	10210	1390	10210	1390	10210					
246	1300056990	0	0	3	5	一般国道5号	1390	10220	1390	10220	1390	10220	1390	10220					

※一部の列を非表示にしてあります

### 3. センサス移行方法

#### 3-1. 準備 (R3 年度交通調査単位区間番号、起終点等の変更確認)

以下①～③の方法で、R3 年度交通調査単位区間番号、起終点等の変更確認を行います。

##### ① 面的評価支援システムのインポートデータによる確認

環境省 HP で公表している面的評価支援システムにインポートするためのセンサスデータを以て、H27 年度交通調査単位区間番号に対応する R3 年度交通調査単位区間番号を確認できます。

The screenshot shows a spreadsheet with multiple columns. Column (a) is labeled '調査単位区間番号' (Survey Unit Section Number) and column (b) is labeled '前回年度調査単位区間番号' (Previous Year Survey Unit Section Number). The data includes various road types and section numbers.

- (a) G 列：調査単位区間番号  
R3 年度交通調査単位区間番号を表します。
- (b) AY 列：前回年度調査単位区間番号  
H27 年度交通調査単位区間番号を表します。

##### ② 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 集計表 箇所別基本表による確認

国土交通省が公表している「令和 3 年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 集計表\_箇所別基本表」を以て、R3 年度センサスの起終点を確認します。また、H27 年度交通調査単位区間番号に対応する R3 年度交通調査単位区間番号も確認できます。

The screenshot shows a detailed spreadsheet with columns for road names, section numbers, and traffic volume data. Column (a) is labeled '起点側' (Start Side), column (b) is labeled '終点側' (End Side), column (c) is labeled 'R3 年度交通量調査単位区間番号' (R3 Traffic Volume Survey Unit Section Number), and column (d) is labeled 'H27 年度交通量調査単位区間番号' (H27 Traffic Volume Survey Unit Section Number).

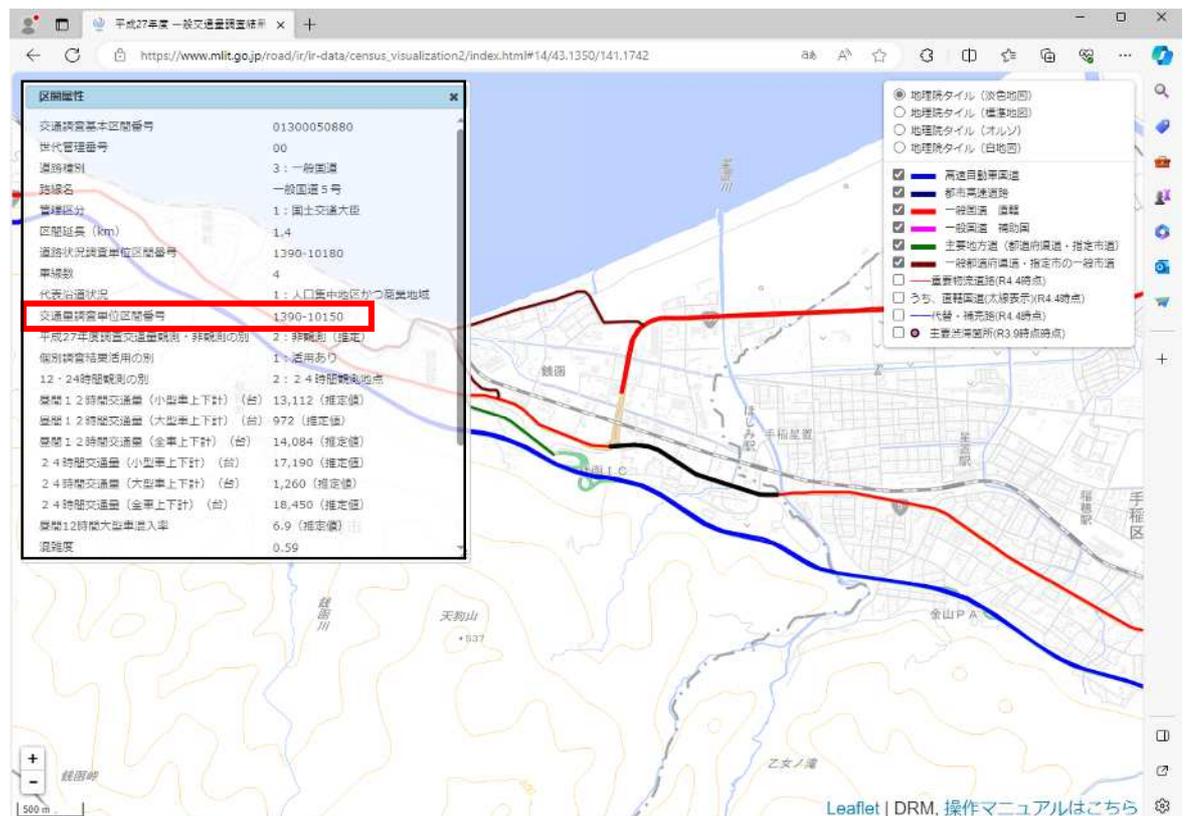
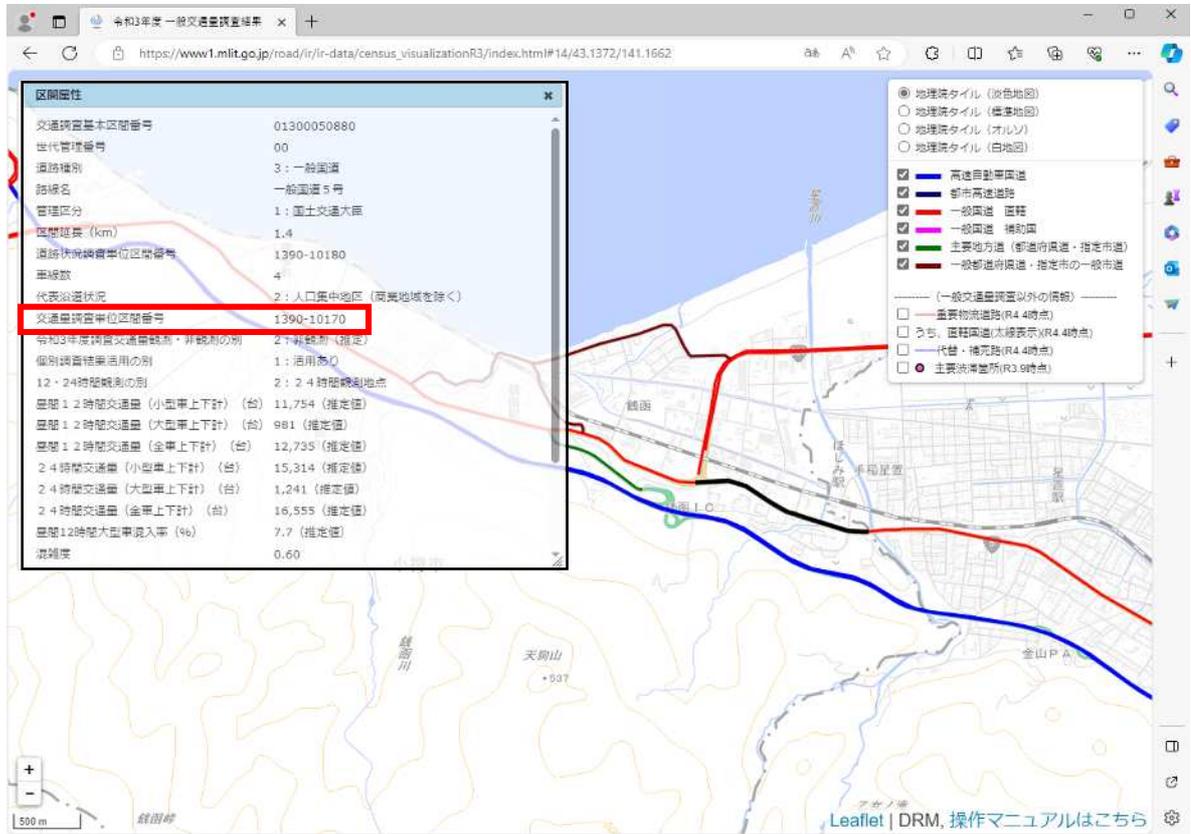
- (a) H-P 列：起点側、終点側  
起点側と終点側の接続する路線名等が記載されています。面的評価支援システムに登録している（既センサス区間）の起終点と変更がないか確認ください。
- (b) AF 列：R3 年度交通量調査単位区間番号
- (c) BP 列：H27 年度交通量調査単位区間番号

**備考**  
令和 3 年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 集計表\_箇所別基本表  
(国土交通省)  
<https://www.mlit.go.jp/road/census/r3/ind ex.html>

③ 一般交通量調査結果（可視化ツール）による確認

国土交通省が公表している「一般交通量調査結果（可視化ツール）」を以て、交通量調査単位区間番号、起終点等を確認できます。

- R3 年度可視化ツール（国土交通省） [https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-data/census\\_visualizationR3](https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-data/census_visualizationR3)
- H27 年度可視化ツール（国土交通省） [https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-data/census\\_visualization2](https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-data/census_visualization2)



### 3-2. 面的評価支援システムでの移行操作

□ 移行操作前に、以下ご留意願います。

■ R3 年度交通量調査単位区間番号、起終点等の変更確認を以て、

- ・ 交通量調査単位区間番号及び起終点等に変更が無い場合

H27 年度センサスと R3 年度センサスでは交通量等が異なるため、必ず道路交通センサス区間の情報入力を行ってください。

- ・ 交通量調査単位区間番号に変更がある場合

交通量調査単位区間番号が他評価区間と重複しないよう注意し、道路交通センサス区間の情報入力を行ってください。

- ・ 起終点に変更がある場合

オブジェクトの区間分割等で適宜修正を行った後、道路交通センサス区間の情報入力を行ってください。

■ R3 年度センサスへの移行は、全ての評価区間を一括で更新することを推奨します。

なお、R3 年度センサスへの移行が一度では困難であり、やむを得ず移行期間が複数年にまたがる場合は、交通量調査単位区間番号が重複しないよう注意し、更新計画を立ててください。

**注 意**

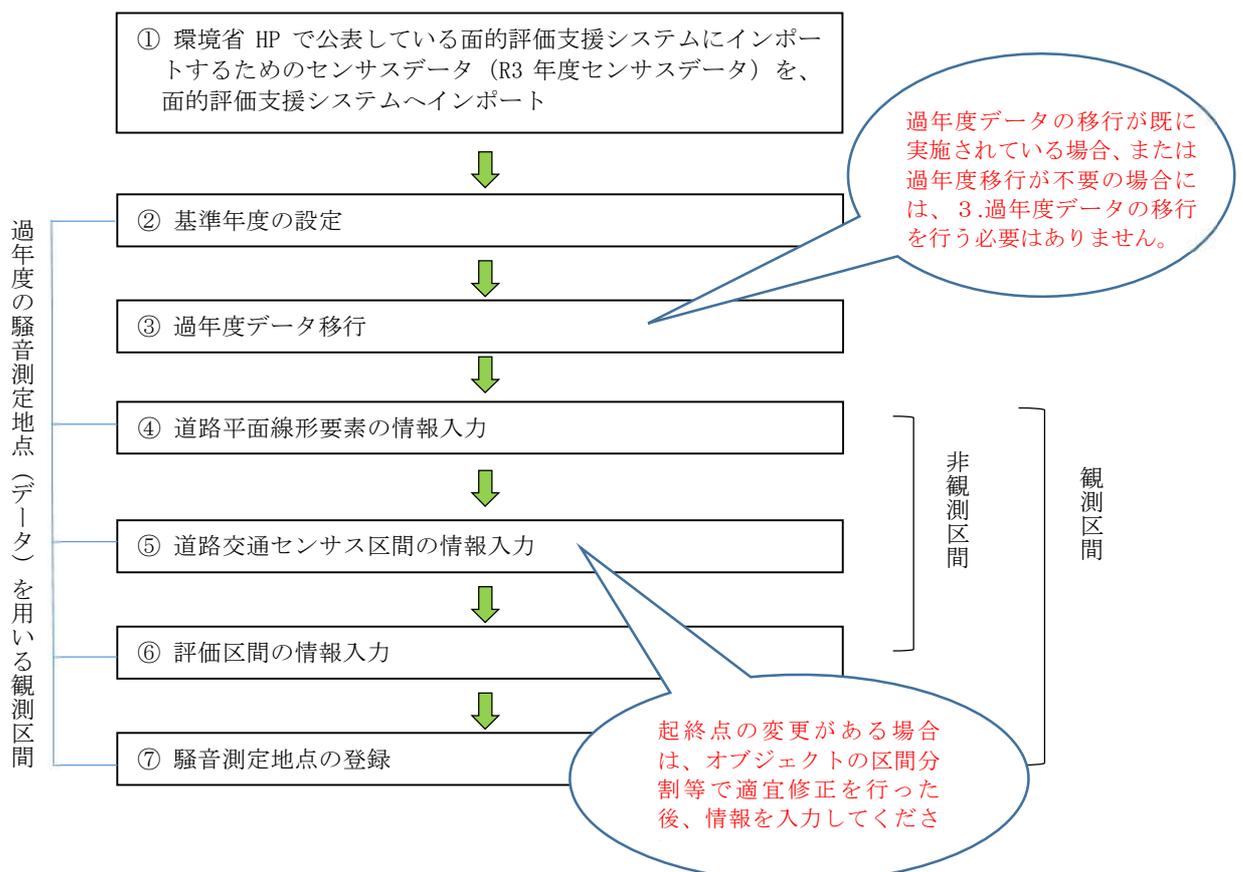
※ 「当該年度のみ更新する方法」の場合、出力結果の表示について注意が必要です。

更新前	更新後
2015-●●●●-1	→ 2021-○○○○-1

更新した区間の出力の年度は 2015→2021、番号は●●●●→○○○に変わります。しかし、更新しない区間の番号は H27 年度センサスのままの番号ですが、年度は全て 2021 で出力されます。

□ 移行操作フロー

下記のフローに沿って、R3 年度センサスへの移行操作を行います。①～③を実施後、非観測区間は④～⑥までの操作、観測区間は④～⑦までの操作を行います。なお、過年度の騒音測定地点（データ）を用いる区間の場合には、②及び④～⑦までの操作を行います。



### ① R3 年度センサデータのインポート

環境省 HP で公表している面的評価支援システムにインポートするためのセンサデータを、面的評価支援システムにインポートします。インポート方法は、面的評価支援システム操作マニュアル（以下、操作マニュアル）「IV-9-1（2）道路交通センサデータ整理表」を参照ください。

### ② 基準年度の設定

基準年度の設定は、観測区間と非観測区間で異なります。システムの基本操作は操作マニュアルを参照してください。

基準年度

現在の処理対象

評価基準年度 2022 年度 選択

道路交通センサ調査年度 2015 年度 詳細設定

騒音データ測定年度 2022 年度

基準年度 - 新規

評価基準年度 2023 年度

道路交通センサ調査年度 2021 年度

騒音データ測定年度 2023 年度

登録 キャンセル

新規 修正 削除 閉じる

基準年度

現在の処理対象

評価基準年度 2023 年度 選択

道路交通センサ調査年度 2021 年度 詳細設定

騒音データ測定年度 2023 年度

評価基準	道路交通センサ調査	騒音データ
2017	2010	2017
2018	2015	2018
2019	2015	2019
2020	2015	2020
2021	2015	2021
2022	2015	2022
2023	2021	2023

新規 修正 削除 閉じる

【参考例：2023 年度(令和 5 年度) 実施結果を入力する場合】

#### ■観測区間

- 1) 評価基準年度：騒音調査の実施年度  
(環境省へ報告いただいた常時監視結果報告様式 2-1 を参照)
- 2) 道路交通センサ調査年度：2021 (R3 年度センサ)
- 3) 騒音データ測定年度：騒音調査の実施年度 ※1) と同じ年度

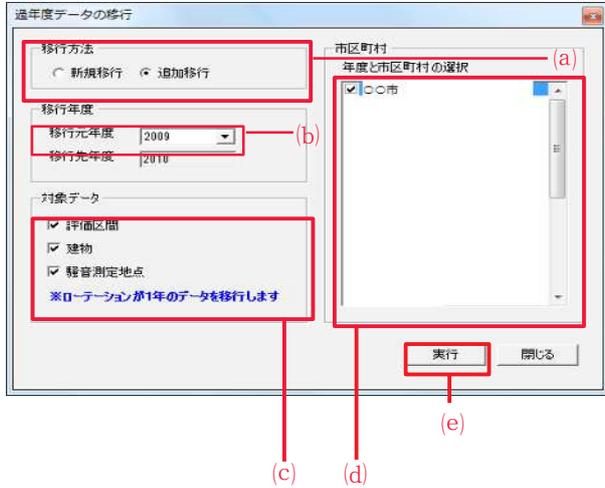
#### ■非観測区間

(環境省へ報告いただいた常時監視結果報告様式 1-1 「騒音発生強度の把握の方法(F 列)」を参照)

- 1) 評価基準年度：2023
- 2) 道路交通センサ調査年度：2021
- 3) 騒音データ測定年度：2023

### ③ 過年度データ移行

過年度データ移行は、操作マニュアル「IV-9-2 過年度データの移行」を参照ください。



(a) 移行方法を選択します。

#### point

新規移行：基準年度のデータを全て削除し、移行元年度のデータから新規作成します。

追加移行：移行元年度のデータを、基準年度のデータに結合します。

(b) 移行元年度を選択します。

(c) 対象データを選択します。

#### 備考

基本的に、対象データは全て選択してください。

#### 備考

騒音測定地点データは、ローテーションが1年のデータを移行します。

(d) 過年度データを移行する市区町村を選択します。

(e) **実行** をクリックします。

➡過年度データが移行されます。

#### 注意

過年度移行は当該年度データを入力する前に、原則新規移行で行います。

追加移行を行うに当たっては「当該年度の評価区間と交差しないこと」の条件があり、当該年度の評価区間と交差する場合には追加移行は出来ません。

#### ④ 道路平面線形要素の情報入力

道路平面線形要素の情報入力を行います。システムの基本操作は操作マニュアルを参照ください。

1) 「要素設定」→「道路設定」→「道路平面設定」→「情報入力」を順にクリックする。

2) 対象の路線をクリックする。

3) 「道路平面線形要素情報入力 詳細」で、路線番号、路線名を確認し、修正が必要な場合は修正する。

4) 登録ボタンで登録する。

#### ⑤ 道路交通センサ区間の情報入力

道路交通センサ区間の情報入力を行います。システムの基本操作は操作マニュアルを参照ください。

1) 「要素設定」→「道路設定」→「道路交通センサ区間」→「情報入力」を順にクリックする。

2) 対象の路線をクリックする。

3) 「道路交通センサ情報入力」で、R3年度センサの路線番号、調査単位区間番号を確認し、修正が必要な場合は修正する。

4) 登録ボタンで登録する。

## ⑥ 評価区間の情報入力

評価区間の情報入力を行います。システムの基本操作は操作マニュアルを参照ください。

- 1) 「要素設定」→「沿道設定」→「評価区間」→「情報入力」を順にクリックする。
- 2) 対象の路線をクリックする。
- 3) 「評価区間情報入力 詳細」で、R3 センサスの路線番号、評価単位区間番号を確認し、修正が必要な場合は修正する。
- 4) 登録ボタンで登録する。

### 注意

※区間分割番号は、同じセンサス区間番号があると自動的に分割番号の最大値の次の番号を振り当てます。

このため、区間分割番号は、センサス更新が全て終わったのち、区間分割番号の修正を行ってください。

## ⑦ 騒音測定地点の登録

騒音測定地点の登録を行います。システムの基本操作は操作マニュアルを参照ください。

- 1) 「要素設定」→「騒音設定」→「騒音測定地点」→「騒音測定地点」を順にクリックする。
- 2) 対象の地点をクリックする。
- 3) 「騒音測定地点」で、R3 センサスの路線確認し、修正が必要な場合は修正する。(下段は選択により修正)
- 4) 登録ボタンで登録する。